


ペルー共和国		首都	リマ
 <p>赤は勇気と愛国心、白は平和と進歩・名誉を示すといわれている。</p> <p>独立：1821/7/28 スペインより 国連加盟：1945/10/31 政体：共和制</p>	国の概要	国土	面積 128万5,000 km ² (日本の3.4倍) 南米大陸の太平洋岸に位置し、標高5,000~7,000mのアンデス山脈が中央部を南北に走る。沿岸部の低地はコスタとよばれる幅の狭い砂漠地帯、東部はセルバとよばれるアマゾン川上流流域の熱帯雨林地帯である。中央の山岳地帯はシエラとよばれ、山間に広大な高原やチチカカ湖をはじめとする湖が点在している。
		人口	2,800万人
		言語	スペイン語(公用語)、ケチュア語(公用語)、アイマラ語
		通貨	ヌエボ・ソル
		気候	沿岸部はほとんど雨の降らない砂漠気候で、低緯度であるがフンボルト海流の影響を受けてあまり暑くはならず、雲や霧が多い。山岳部は全般に乾燥した高山気候、東部は高温多雨の熱帯雨林気候である。12~4月が乾季で、6~10月が雨季である。
		民族	インディオ47%、メスティソ(白人とインディオの混血)40%、ヨーロッパ系12%、東洋系1%
	宗教	カトリック教徒90%	
教育制度の概要	学校体系	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園(4歳~)、小学校(6年間、7~12歳)、中学校(5年間、13~17歳)、大学(5年・医学部8年)となっている。大学予備校、専門学校もある。 ・学校は国立と私立のみで、市立はない。国立の場合、授業料は無料である。また、国立の小・中学校の多くは2部(午前・午後)または、これに夜間を加えた3部制を実施している。 ・日系の小・中学校が5校、インターナショナルスクールが3校ある。 	
	義務教育	<ul style="list-style-type: none"> ・義務教育は5歳(幼稚園)から16歳(中学5年生)までの11年間である。 その年の5月31日までに満6歳になる者は、その年の4月1日に義務教育の第一学年に入学する。 ・幼児教育1年間が義務教育となっているが、幼稚園はほとんどが私立で、数も十分でないため完全実施には程遠い状況 	

		である。
	日本と比較した教育課程上の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・使用言語はスペイン語。小学校では、1週間に国語(6)、算数(6)、社会科(6)、理科(6)、体育(3) 英語(1) 宗教(2)などの基礎科目が教えられ、中学校ではこれらの科目に英語、物理、心理、公民などの科目が加えられる。 ・授業は45～50分授業で、道徳はなく、学級活動や学校行事も少ない。 ・リマの中等教育の学校では、カリキュラムとして、コミュニケーション(語学) 数学、自然科学、宗教、体育が必修となっている。選択科目は普通、文系と技術系に分かれている。
	義務教育後の教育	・大学(5年制)、各種専門学校(1～3年制)がある。
	就学前教育	<ul style="list-style-type: none"> ・3歳未満は保育園、3歳～5歳までは幼稚園となっている。 ・保育園の数が少ないので、上の子が下の子の世話をするのが一般的である。 ・幼稚園はお金がかかるので、裕福でないとは行くことができない。
学校生活	休業期間	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季休業は12月中旬～3月中旬の約3ヵ月間、冬季休業は7月28日を中心とした2週間である。 ・2学期制で、1学期は4月1日～7月27日、2学期は8月11日～12月20日である。
	学級担任制、教科担任制等	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校では、学校によって違うが、体育・音楽などを除き、1年を通じて1人の教師がすべての教科を教える。アシスタントが1人いて、面倒をみている。 ・中学校では学級担任はいるが、教科担任制になっている。 ・通知表は小学校が年3回、中学校が年4回出し、0～20段階評価である。
	飛び級、落第の有無	<ul style="list-style-type: none"> ・学校によって違うが、各教科は20点満点で評価され、不合格点(10点以下)が3教科以内であれば追試験の結果により進級の可否が決められるが4教科以上は落第となる。 ・出席日数が70%以上でなければ進級できない。 ・飛び級は試験にパスすれば可能である。
	教育内容の差異	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校から中学校まで一貫して「宗教」の時間が設けられている。 ・水泳の授業はない。理科実験は比較的少ない。 ・音楽や体育の時間は少ない。 ・私立校では、英語・コンピュータの授業がある。

<p>学校行事の特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会（陸上競技大会とレクレーションを併せたようなもの）がある。 ・「母の日」などの行事がある。 ・学校によって違うが、遠足や小・中学校の最終学年に保護者主催の修学旅行が学校の休日を利用して行われる。参加は自由である。 ・独立記念日にセレモニー等を行う。
<p>給食</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・給食制度はなく、各自弁当、スナック、飲料水等を持参又は校内の売店で購入する。午前の部の子どもは、学校が終わってから家で食べる。 ・おやつを持参し、休み時間に食べる。（ロンチエラ） ・私立校の中には、給食設備の整ったところもあるが、自由参加となっている。
<p>チャイムや号令</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全校朝会では学級委員が各学級の先頭に並び整列させる。 ・朝会終了後、順に学級に入り授業が始まる。 ・授業の切れ目にチャイムが鳴らされる所と「起立、礼」やチャイムがないところもある。
<p>教室における行動様式等の違い</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワークが多く、宿題も多い。宿題が本読み程度の学校もある。 ・カウンセリングのために児童生徒や保護者が呼び出しを受ける場合がある。
<p>校則 （学校によって違う）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定刻に校門が閉められるので、遅刻すると入れなくなる。この時はいったん家に戻り、保護者同伴で登校し生徒指導担当の教師に遅刻の理由を述べ、許可されると授業を受けることができる。 ・1学期中に3回以上の遅刻があれば父母が呼び出されて注意される。 ・校則として、言葉遣いの注意、校内への持ち込み品、教室などでの飲食、制服の着用（幼稚園から高校まで）、髪型などの規定がある。守られない場合は、担任による口頭注意、校長からの呼び出し、状況に応じて停学・退学の処分がある。 ・女性は子どものときからピアスをしているのが普通である。 ・宗教的儀式に参加することは校則で定められている。
<p>保護者の授業参観、保護者会、PTA</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一般的に、子どもの教育は学校・教師主導のもとに行われているが、親の発言も多い。授業参観、家庭訪問の制度はなく、子どもの試験の成績が悪かったり、授業・生活態度など

	<p>について問題があったりする場合は、教師は随時、親を呼び出し、注意を促す。また、小学校での宿題については、その履行を親に必ず確認させるという方法をとっている。</p> <p>・PTA 活動は活発で学校の運営に関する事で会議が開かれる。</p>	
子どもの一日	<p>・宿題を終えた後、男子はサッカー、女子はバレーボールをしたり、TV や TV ゲームをしたりし過ごすことが多い。塾に通っている子もいる。夕食は 8 時～9 時と遅く、就寝は 10 時ごろとなる。</p> <p>・電車はないので、バス通学か家の方が車で送る。</p> <p>・小学校の高学年になるまで、子どもだけの外出はしない。5 年生から一人でも通学できる。</p> <p>・午前中は家の手伝い（仕事）をし、午後から学校に行き、帰宅後はまた、弟妹の面倒をみるという小・中学生も多い。貧富の差が大きいので、いろいろなケースがある。学校に行けない子どももいる。</p>	
その他	<p>・裕福な家庭では、受験のために塾に通う。</p>	
生活習慣等	言葉の指導面の留意事項	<p>・男ことば、女ことばという特定の言語はなく、性別は単語の語尾の変化で示す。</p> <p>・日本語の学習では、「シ」と「チ」の区別がつきにくい、「ヤ行」と「ジャ行」が混同する、「H」を発音しないので、「ハ行」の子音の脱落がみられる。</p>
	指による数え方 計算方法の違い	<p>・小指から数えることが多い。親指、人差し指の順に数える場合もある。</p> <p>・割り算の筆算のしかたが異なる。</p>
	宗教上の忌避事項	<p>・セマナ・セント（聖なる週間）は魚を食べる人が多い。</p>
	食生活	<p>・朝はカフェオレか菓子パンのようなものか牛乳のみ、昼は時間をかけてきちんとした食事をとる。夜は、8 時頃にサンドイッチ等軽く食べる。</p>
	衣服住居の違い	<p>・1 日の温度差があるため朝はセーター、昼は T シャツということもある。帽子の着用はあまりしない。コート、オーバー、かさの必要はほとんどない。</p> <p>・かつては土塗り壁構造の住居が一般的であったが、近年は少なくなっている。レンガ・石・コンクリートの家が多い。</p> <p>・浴室とトイレは同室になっている。</p>

	交通規則の違い	<ul style="list-style-type: none"> ・車は右側通行で、リマ市内には電車が通っていない ・バイクや自動車の運転免許は 18 歳になると取得可能となるが、親の特別許可があれば 18 歳未満での取得も可能である。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・正式な名前は、ファーストネーム 1 (+ファーストネーム 2) + 名字 (父方) + 名字 (母方) である。名字 3 (父方) 名字 4 (母方) まである子もいる。 ・学校ではファーストネームで呼ばれる。 ・喫煙、飲酒は 18 歳以上が許されている。 ・日本については、国民の努力で高度な技術をもって発展を遂げた国、親切的な国というイメージが強い。日本の伝統的な文化にも関心をもち、日本のコンピュータゲームに熱中する生徒も多く見られる。

<参考資料>

- ・世界の国々・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・外務省
- ・世界の学校を見てみよう！（キッズ外務省）・・・・・・・・外務省
- ・諸外国の教育情報・・・・・・・・・・・・・・・・外務省
- ・日本語教材「にほんごをまなぼう」の指導書資料・・・・・・・・文科省
- ・世界の国々・・・・・・・・・・・・・・・・アトラス
- ・リマ日本人学校（月刊誌「海外子女教育」）・・・・・・・・海外子女教育振興財団
- ・ジュニア世界の国旗図鑑・・・・・・・・平凡社
- ・日本語指導教材の開発・・・・・・・・井上恵子
- ・日本語指導担当教員より（2名）